

## 第4節 住環境

### 現状と課題

住宅は生活の拠点であり、家庭教育の場、家族の団らん・安息の場として、コミュニティを形成する場所でもあります。そのため、良好な住宅をはじめ、ライフスタイルに対応した豊かで暮らしやすく、社会環境への変動に対応できる快適な住環境の整備が求められています。

本町は、奈良盆地の中央部に位置し、古代条里制の区画をそのまま残し、中心市街地はかつての寺内町・陣屋町・宿場町に由来する骨組みを受け継いでおり、町全体が古代から近世までの歴史的風土を色濃く残したところです。

中心市街地は、17世紀に形成された寺内町、その後の陣屋町に由来する市街地です。このため、寺内町にあたる地区は、由緒ある社寺や伝統的な建造物が分布する反面、道路が狭く、住宅等が集中し、人口密度が高い市街地が形成されているため、まちには緑とオープンスペースが少ない状況となっています。さらに既存の集落や市街地においても、大変狭い道路が多く、防災面及び現在の車社会に対応した住環境整備が必要です。

また、公共公益施設等については、全国的にバリアフリー化が進んでいることから、民間開発においてもバリアフリー化の誘導が課題となっています。

住環境

中心市街地の活性化

災害に強い住環境整備

緑化とオープンスペースの確保

個性ある景観の形成

バリアフリー化の推進

**施 策****1. 中心市街地の活性化**

駅周辺整備に伴う中心市街地の活性化として、居住人口の増進を図るため、民間活力と連携し、多様な都市型住宅の整備を促進します。

**2. 災害に強い住環境整備****①耐震化対策等の充実**

既存の市街地では、老朽化した木造家屋が密集していることから、耐震化対策や不燃化対策を推進した有効な手法で、災害に強い住環境を推進します。

**②雨水流出の抑制**

宅地化による雨水の流出負荷を軽減するため、雨水流出抑制施設の導入を推進します。

**3. 緑化とオープンスペースの確保****①緑化の推進**

緑豊かな住環境に向けて、公園・道路・河川など公共施設の緑化のほか、民間にも広く協力を求め、多くの樹木を植栽するよう努めます。

**②住環境に対する住民意識の向上**

住民の誰もが気軽に利用できるオープンスペースを各所に設けるとともに、快適な生活水準を維持するため、住環境に対する住民意識が向上するよう啓発活動を行います。

**4. 個性のある景観の形成**

昔ながらの面影をとどめる中心市街地及び中心市街地周辺のまちなみについては、文化・歴史を活かした個性のある住宅市街地として形成します。

**5. バリアフリー化の推進**

障害者、高齢者等をはじめとするすべての住民にとって安全で快適な生活環境の整備を推進します。